

「永遠の日本のふるさとと遠野」 第2ステージへ。

市は、次の10年のまちづくりの目標である「第2次遠野市総合計画」(以下、第2次総合計画)を策定しました。同時に、人口減少に立ち向かうための「遠野市人口ビジョン」と「遠野スタイル創造・発展総合戦略」も策定。今年から、まちづくりの第2ステージがスタートします。

第2次総合計画、策定。

まちづくりの目標

総合計画とは、市のまちづくりの目標のこと。全国のほとんどの自治体が作成しています。

総合計画は、市が目指す将来像やまちづくりに向けた基本理念を明らかにした「基本構想」、主要な施策を分野別に体系化した「基本計画」、具体性を持った「実施計画」の三つで構成しています。「基

本計画」は、基本構想に示した計画の大綱を実現するための前・後期5年ごとの計画で、将来像や基本理念の実現に必要な事業を明らかにしています。

さらに計画を具体的に進めるため、財政計画とも整合を図りながら実行性のある「実施計画」を策定し、社会情勢や市の財政状況なども考慮しながら、毎年度見直しをしています。

次の10年の将来像も永遠の日本のふるさとと遠野

新・遠野市誕生後の10年間は、第1次総合計画を策定し、まちづくりに取り組んできました。第1次総合計画に基づく市民協働によるまちづくりは、『遠野物語』発刊百周年記念事業や沿岸被災地後方支援活動など、一定の成果を上げることができたことから、次の10年間の目標となる第2次総合計画も、そのスタイルを継承。将来像を「永遠の日本のふるさとと遠野」、基本理念を「遠野スタイルの創造・発展」とする基本構想を、昨年6月に策定しました(下記参照。本誌7月号でも詳しくお知らせしています)。

市民の思いを計画に反映

本計画を策定。昨年12月、市議会の承認を得ました。前期基本計画では、5つの大綱と2つの共通優先方針に基づく150の事業を盛り込み、事業達成の目標であり計画の進捗を示す「まちづくり指標」を135指標とすることを定めています。また、市は、前期基本計画に合わせ「第3次健全財政5カ年計画」も策定。これは、前期基本計画の確実な実行を財政的に裏付けし、かつ健全な財政運用を約束するもの。健全財政を維持した上で、総合計画に掲げる「永遠の日本のふるさとと遠野」の実現を目指します。

この基本構想に基づき、前期基

市総合計画審議会(白井悦男会長^左)は約1年6ヵ月(全12回)にわたって計画を審議。昨年10月、市に対し最終答申を提出しました(写真)

第2次総合計画には、市民の皆さんが描くまちづくりへの思いが込められています。市長と語ろう会や各種審議会、アンケート調査などで得た市民の皆さんの声を反映。また、市民や関係団体の代表者ら25人で構成する「総合計画審議会」で、計画の審議と計画の評価をいただいています。総合計画は、市と市民と一緒に目指す、まちづくりの目標です。「永遠の日本のふるさとと遠野」を目指し、市民一丸となって、第2ステージに挑んでいきましょう。

The 2nd Stage.

第2次遠野市総合計画

基本構想 平成28年～37年度(10年間)
基本計画 前期:28年度～32年度 後期:33年度～37年度
実施計画 計画期間3カ年の毎年度更新するローリング方式

基本構想 ※本誌7月号で紹介済み

市の将来像 永遠の日本のふるさとと遠野

基本理念 遠野スタイルの創造・発展

- 大綱**
- 大綱1 自然を愛し共生するまちづくり
 - 大綱2 健やかに人が輝くまちづくり
 - 大綱3 活力を創意で築くまちづくり
 - 大綱4 ふるさとの文化を育むまちづくり
 - 大綱5 みんなで考え支えあうまちづくり

- 共通優先方針**
- 1. 産業振興・雇用確保
 - 2. 少子化対策・子育て支援

前期基本計画 (28年度～32年度) NEW

主要事業数 **150** 事業 まちづくり指標数 **135** 指標



総合戦略で、未来を拓く。

減り続ける人口

新・遠野市が誕生した時点で約3万2千人だった本市の総人口は、この10年で約4千人減少し、現在は約2万8千人。国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)によると、このまま減少が続けば、今から24年後の2040年には1万8千人を割り込むと推計されています。

地域の活力を失わせる人口減少。全国的に人口減少に対する危機感が高まる中、国は、平成26年11月、「まち・ひと・しごと創生法」を施行。本格的に、人口減少や地方創生に対する取り組みを始めた。

人口2万人を死守！ ビジョンと総合戦略を策定

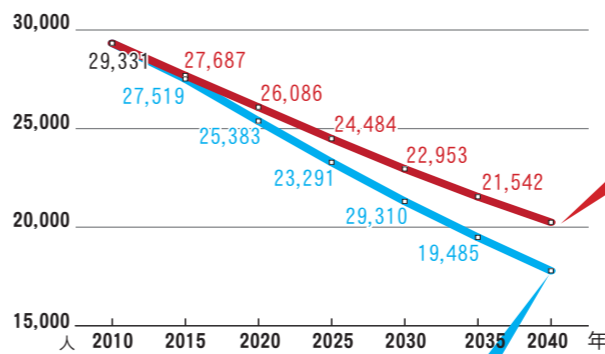
市はこれに基づき、平成27年4月、「まち・ひと・しごと推進本部」を設置。人口の現状を分析し、将来の人口を展望する「遠野市人口ビジョン」と、人口減少に立ち向

かうための目標や具体的な取り組みを掲げた「遠野スタイル創造・発展総合戦略」を策定しました。

人口ビジョンでは、さまざまな施策を展開することで、2040年の総人口は、社人研の推計よりも約2400人多い2万2百人程度まで歯止めを掛けられると推計しています。

総合戦略は、総合計画の共通優先方針である「産業振興・雇用の確保」「少子化対策・子育て支援」について重点的に取り組むとともに、地域の特色を生かすことで人口減少に歯止めをかける戦略です。各分野で構成する有識者会議や市議会議員との意見交換会による意見・提言を反映。地域が一体となった遠野スタイルの戦略を展開し、地域経済の発展と「子育てするなら遠野」の実現を目指します。人口減少に歯止めをかけるためには、市民の皆さんの協力が必要不可欠。「永遠の日本のふるさと遠野」を後世に残すために、一緒に取り組んでいきましょう。

【市の人口推計と将来展望】



遠野が目指す人口ビジョン
2040年(24年後)

20,200人

※社人研推計
2040年(24年後)
17,786人



夢や目標は、
叶えるためにある。

明けましておめでとうございませう。市民の皆さまは、家族や友人などとそれぞれ思い思いの正月を迎えられたことと思います。また、1年の目標を立てた方も多いのではないのでしょうか。
皆さまが新年に夢や目標を立てるように、市も、次の10年、そして未来に向けた目標を立てました。一つ目が、次の10年のまちづくりの目標である第2次総合計画です。新・遠野市誕生後の10年間、市民協働による「遠野スタイル」のまちづくりは、一定の成果が得られました。そのスタイルを継承し、第2次総合計画は、基本理念を

遠野スタイル創造・発展総合戦略 「遠野みらい創造デザイン」

NEW

3本柱を具体的に4戦略・6重点プロジェクト・10デザインで展開。人口減少に歯止めを掛けます。

3本柱	戦略と重点プロジェクト	みらい創造デザイン
産業振興 & 雇用の確保 遠野で生活するために必要な「働く場」を創り、定住と移住を促進。人の流れを変えます。	【戦略1】 地域資源を生かした雇用の創出 重点プロジェクト1 雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興 重点プロジェクト2 タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	地域をつなぐ道の駅の魅力づくり ものづくり産業の拠点づくり 6次産業化によるなりわいづくり
	【戦略2】 観光から交流、そして定住へ 重点プロジェクト3 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	四季彩とにぎわいのまちなかづくり 景観と新エネが添う環境づくり
少子化対策 & 子育て支援 遠野全体で子育てを支援し、出生率の向上を目指します。	【戦略3】 子育て支援の推進 重点プロジェクト4 「子育てするなら遠野」の推進	住んでみたいふるさとづくり 安心して産み育てる里づくり
	【戦略4】 健康寿命の延伸 重点プロジェクト5 高齢者の自立と社会参加の促進	ICTによるネットワークづくり 進化する地域のきずなづくり
遠野力の結集 市民主体の遠野ならではのまちづくりで、遠野に暮らす魅力を高めます。	プロジェクトX(エックス) 人と人とのふれあいによる“しあわせ度”の向上	未来に引き継ぐみんなの宝づくり

第2ステージをもっと詳しく、あなたへ。

市民説明会

1月12日(火)~

市総合計画の概要や大綱別の主要事業、遠野スタイル創造・発展総合戦略などについて説明します。お住まいの地域に限らず、どの会場でも参加いただけます。

日時	場所
1月12日(火)	附馬牛地区センター
	達磨部多目的研修集会施設
14日(木)	綾織地区センター
	土淵地区センター
15日(金)	青笹地区センター
18日(月)	みやもりホール
19日(火)	松崎地区センター(※)
20日(水)	上郷地区センター
21日(木)	あえりあ遠野 中ホール
	鱒沢老人憩いの家
22日(金)	小友地区センター

時間▶18時半~20時
※松崎地区のみ19時~20時半

冊子を全戸配布

2月18日(木)発行

市総合計画の概要や大綱別の主要事業、遠野スタイル創造・発展総合戦略などについて、図や資料を交えわかりやすくまとめた冊子を2月18日(木)に市内全戸に無料で配布します。ぜひ、一読ください。

年頭のごあいさつ

「遠野スタイルの創造・発展」、将来像を「永遠の日本のふるさと遠野」と定めました。人口減少という課題に挑戦するため、共通優先方針に「産業振興・雇用確保」「少子化対策・子育て支援」を盛り込み、5つの大綱も示しております。二つ目は、国による地方創生という追い風を受け止めるために策定した「遠野スタイル創造・発展総合戦略」です。戦略では、遠野みらい創造デザインという具体的な理想像も描いております。この戦略を基に、遠野の強みである「地域力」を生かしながら、人口減少の抑制と人口構造の若返りに挑みます。

この二つには、市民の皆さまのまちづくりへの思いが込められております。これらは、3万市民の目標でもあるのです。今後、市民説明会と冊子の全戸配布を予定しております(上記参照)。ぜひ、この機会を活用いただき、2つの目標に理解を深めていただければと思います。

さあ、今年からまちづくりの第2ステージが始まります。夢や目標は、叶えるためにあります。市民と行政との協働スタイルで着実に行動に移し、明るい未来を切り開いていきましょう。

The 2nd Stage.